

学習案内 第3学年 【 美術 】

1. 学習目標

- 美術における対象のとらえ方を理解し、意図に応じて表現方法を工夫し創造的に表すことができるようになる。
- 自然の造形、美術作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができるようになる。様々な美術文化に触れ、見方や感じ方を深められるようになる。
- 学んだことを生かし心豊かな生活に進んで生かしてみよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	単元名（学習内容）	学習のねらい
1 学 期	「デザインや工芸など」 ◇石印・石彫の制作◇ ○篆刻に興味を持ち、伝統技法を生かし工夫した印文字を作成する。 「絵画や彫刻など」 ○抽象的・装飾的な彫刻に関心を持ち彫刻する。 ◇鑑賞◇ ・仏像に興味を持ち主体的に鑑賞する。 ・琳派の造形を鑑賞する	・工夫し考えた文字を構想することができる。 ・材料の性質を理解し具体的、抽象的な形の構想を練ることができる。 ・限られた形の中で工夫し考え、安全に留意し作業することができる。 ・様々な方向からの形を意識し掘り進めることができる。 ・仏像に特有な表現について理解することができ、時代背景や日本文化とのかかわりを考えることができる。 ・日本の伝統工芸に興味をもち優れたデザインを鑑賞することができる。
2 学 期	「絵画や彫刻など」 ◇自画像を描く◇ ○自分の今をしっかりと観察し、特徴を捉えたり強調して自分を表現する。 ◇鑑賞◇ ○絵巻物に関心を持ち主体的に鑑賞できる。 ○ゴッホの作品に関心を持ち日本の美術との関係に興味を持って鑑賞する。	・自分自身と向き合い、表現の構想を練ることができる。 ・材料の特性を生かし自分らしさを表す方法を工夫出来る。 ・自分らしさを表すことに関心を持ち主体的に取り組んでいる。 ・絵巻物のよさや美しさを感じ取ることができ、美術文化の見方考え方を深めることができる。 ・日本美術が西洋美術に与えた影響について理解する。 ・ゴッホとその作品に関心を持ち主体的に鑑賞できる
3 学 期	「絵画や彫刻など」 ◇水墨画の世界◇ ○墨の濃淡や筆使いを工夫し水墨画にチャレンジする。 ◇鑑賞◇ ・水墨画や障壁画、浮世絵などの日本の文化史に興味を持ち主体的に鑑賞する。	・墨の性質を理解し効果的な表現方法を工夫できる。 ・墨による特徴を生かし構想を練ることができる。 ・濃淡やにじみなどを効果的に用いて空間の美を表現できる。 ・障壁画や水墨画、浮世絵のよさや美しさを感じ取り美術文化の見方や考え方を深めることができる。

3. 評価の観点と方法（三つの観点を総合的に判断して評価します。詳細は単元ごとのプリントに記載）

	知識及び技能	思考力、表現力、判断力など	学びに向かう力、人間性など
評価の方法	・材料や用具の生かし方などを身に付け意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性化などから制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。 ・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解し自分らしさ、生命感などを全体のイメージでとらえることを理解している ・造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などをとらえることを理解している	・使う目的や条件などを基に使用するものの立場、機智やユーモアなどから使いやすさや美しさなどとの調和を総合的に考え表現・構想を練ることができる。 ・対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、もとに主題を生み出し全体と部分との関係を考え、創造的に構成、こころ豊かに表現する構想を練っている。線や形、色彩を工夫して表すことができる。 ・日本の伝統的な造形表現を生かし、効果を考え豊かに表現する構想を練ることができる	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている ・主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている ・主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組んでいる

